



着々と工事が進む昭和橋

では、開園後、最高の充実した運営をしており、全国の多くの自治体等が視察に訪れています。次に、国道122号線の拡幅整備は、昭和橋の架け替えも含めて着々と進められています。昭和橋は現在の橋の下流側に橋台・橋脚12基を建設する計画で、そのうち8基が建設され、平成16年度末ごろの完成を目指して建設中です。完成後は、現在の橋を取り壊して改築する計画で、将来は片側2車線ずつになる予定です。

次に、皆さんが感心を持たれている市町村合併は、約3300の市町村を1000にしたいのが国の方針です。昨年、館林市長から邑楽郡の各首長に任意合併協議会の参加申し入れがありました。明和町は町議会議員と協議した結果「もう少し調査・研究を重ねていきたい」との回答をしています。また、役場庁舎の整備については耐震診断結果、耐震性能が低く補強が必要と診断されたため、平成13年12月から一般公募委員をはじめ学識経験者、地域代表者、各種団体代表者、実務経験者など166人の役場庁舎整備検討委員会で検討の結果、役場庁舎は建て替えることに意見が一致と答申されました。さらに、平成14年8月から一般公募委員をはじめ、学識経験者、地域代表者、各種団体代表者、実務経験者など62人の役場庁舎建設基本計画検討委員会で検討の結果、新たな建設予定地に20、000㎡、25、000㎡の土地を取得のうえ、総事業費30〜35億円取得の3階建ての庁舎を整備するなどの基本計画が答申されました。そして、1月には町議会議員や区長、公募委員など60人の役場庁舎建設委員会を設立し、答申内容を尊重しながら建設に向けて進めています。行政の拠点となるので将来合併等による行政の利用形態の変化にも対応できるように配慮していきたい考えです。

問

上江黒地区内の旧児童館の跡地は、町で今後福祉に

旧児童館の跡地は福祉関係の利用を考えていますか

質疑応答



町の計画を質問する参加者

も、ぜひ利用いただき健康増進や教養を高めてほしいと思います。最後に、町制施行以来5周年を迎える平成15年は、主要事業の一つとして、環境元年と位置づけ環境宣言をしたいため、国際規格ISO14001の認証取得に向けて努力していきたいと考えています。

して何かに利用する考えはありませんか。もし、まだ未定でしたら、若いお母さんたち親子が集まり、またお年寄りの方々もそこで運動ができ、みんなとふれあい活気につながるような場所にしていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。

町営住宅を整備したい考えです

答

旧東部児童館は、昭和41年に建設されたもので建物の老朽化により、平成12年3月に児童館としての役目を終え、現在は踊りのグループやボイスアウトが暫定的に利用しているだけで、ほかのかたは利用していない状況であります。

福祉の面に利用できないかというご質問ですが、平成13年10月から新里地区内の旧中央幼稚園跡地に社会福祉会館を整備して運営しており、類似施設を整備すると経費もかかることから、この施設を多に利用いただきたいと思います。旧東部児童館跡地は、東部地域の活性化にも繋げるため、町営住宅を整備していきたいと考えています。